

『新先蹤録』 完成を振り返って

母校創立150周年を記念し、5年の歳月をといやして編纂委員会が完成させた『新先蹤録』を今日、同窓各位や国内・県内の各方面の方々にご高覧いただいていることは、誠に喜びに堪えませ

ん。
ここに振り返れば、数年前の事業の先が見通せない時期にあっても、編纂にあたる委員各位は一言の不安や不満も口にする事なく、力強く対象者を調査し、感動をつかみ取り、原稿に仕上げ、気高く無報酬の完全ボランティアを貫きながら、休む間もなく次の仕事へと取り組みました。委員9名の多くはすでに老境に差し掛かっておりましたが、ひるむことなく秋高に宿るノブレス・オペリージュを遺憾なく発揮し、母校と同窓会に対する責務を全うしたのであります。今日の上梓は、その成果・果実を収穫することに他なりません。委員各位に対しては、誠に頭が下がる思いであります。

頭が下がるといえば、2代にわたる同窓会長、故町田睿（さとし）さんと銭谷眞美さんのお二人には編纂事業を進める上で、常に温かいまなざしでご支援を賜りました。ここに厚くお礼を申し上げます。

また先の『先蹤録』は20年前の母校創立130周年に際して、明治・大正期に旧制秋田中学が輩出した歴史的逸材・偉人を対象として、私の大学母校・慶應義塾の先輩である小玉得太郎さんによるご発議と資金提供のもとに同窓会事業として編まれたものでした。今回の『新先蹤録』はそれに続く昭和戦前期、戦中期、戦後期の卒業者を対象としつつ、少数の明治・大正期の方々も含め、38

名（うち女性は今4名）を完成本に写真に収めることができま

した。
ところで人選にあたり軸足となったのは、男女を問わず、その人が「何であったのか」ではなく、「何を成し遂げたのか」であり、さらびやかな要職にあらうとも世のため人のために達成した事績が見えない場合は、静かに退場いただきました。

編纂事業を進める上で、最大の難関として立ち上がったのは、新型コロナウイルスの感染拡大と国内の移動制限、それに伴うインタビュー取材の不成立でした。編纂の冒頭、完成本の主力はここにありと心していたオーラルヒストリーの妙味は、わずか初期の原稿6本で製作の中断を余儀なくされ、委員会は方針変更を強いられ、私はコロナ憎しの憤怒の焰の中におりましたが、それを救ってくれたのは、聡明なる委員各位でした。ここでも秋高は人材の宝庫でありました。厚くお礼を申し上げます。

このあとは、170周年さらには200周年記念の『先蹤録』を楽しみにしつつ、秋高と同窓会の発展の姿をしっかりと確かめて参ります。今日までのご支援誠にありがとうございました。

新先蹤録委員会委員長 畠山 茂（昭和43卒）

「新先蹤録」はAmazonで購入可能（2,200円）です。



「新先蹤録」はAmazonで購入可能（2,200円）です。

「秋高百五十年史」 頒布のご案内

「秋高百五十年史」は、秋高百五十年史編集委員会が、母校の歴史をひも解き、校風や教育の軌跡をたどり、学校行事や部活の記録、明治時代以来のさまざまなエピソードや秋高祭のパンフレットなどを掘り起こし、秋高の歴史と伝統を一冊にまとめました。あなたの高校時代3年間の思い出がどこかのページにきっとあります。

頒布価格	3,500円
体裁	上製本・化粧箱付
内容	A4版(縦型)380ページ
発行日	令和5年9月1日

[お問い合わせ先]

秋田県立秋田高等学校同窓会
TEL. 018-832-9553 FAX. 018-832-9588
E-mail aki-doso@cna.ne.jp

内容に誤りが認められました。
詳細については、同窓会ホームページでご確認ください。



名簿第42号
完売

同窓会員名簿第42号は、年次名簿委員ほか、校正協力者、財政支援いただいた協賛広告掲載会員など皆さまのご協力、ご支援のお陰で9月1日に発行することができました。深く感謝いたします。なお、10月1日時点で次の訂正が見つっております。お詫びして訂正いたします。

P19 歴代校長第37代
(誤) 村岡正樹
(正) 松岡正樹